

漁 船 統 計 表

(令和3年12月31日現在)



鹿児島県 水産振興課

まえがき

この統計表は、令和3年12月31日現在における鹿児島県の登録漁船を集計したもので、これを所管別、市町村別、漁業協同組合別、及び船型船質別、推進機関の種類別に分け、過去の推移等を示して、本県の漁船の現状を明らかにしたものです。

今後の水産振興対策の資料として、活用されることを期待します。

令和4年3月

漁業種類の分類

この統計表に使用された漁業種類は、次のとおりである。

漁業種類	漁業の内容
淡水漁業	潮汐の影響のない潟,湖,沼,河川,放水路,溜池,貯水池等における漁業
内水面漁業	潮汐の影響のある潟,湖,沼,河川,放水路等における漁業
採介藻漁業	浅海における海藻,貝類の採取及び養殖業
定置漁業	定置漁業
一本釣り漁業	各種一本釣り漁業(ただし,かつお・まぐろを除く)
はえなわ漁業	各種はえなわ漁業(ただし,かつお・まぐろを除く)
刺網漁業	各種流網,刺網,たたき網,建網漁業
まき網漁業網船	小型,中型,大中型まき網漁業の網船
まき網漁業付属船	各種まき網漁業の付属運搬船,灯船等
敷網漁業	四そう張網,浮敷網,棒受網漁業
底びき網漁業	小型機船底びき網,沖合底びき網漁業
ひき網漁業	小型機船船びき網,地びき網,ごち網漁業
かつお・まぐろ漁業	かつお・まぐろ一本釣り,まぐろ,さめ,かじき,うきはえなわ漁業
官公庁船	漁業の試験調査,指導,練習,取締りに従事する漁船
漁獲物運搬船	漁場から漁獲物を運搬する漁船
雑漁業	魚類養殖及び上記の分類に近似の漁業のない漁業

記号の分類

この統計に使用している記号は次のとおりである。

S 鋼船 W 木船 F プラスチック船
 No 隻数 GT 総トン数 PS 馬力数

漁船勢力の概要

令和3年12月31日現在の漁船隻数は、8,186隻（海水動力漁船8,155隻、海水無動力漁船29隻、淡水動力漁船2隻）で前年に比べると173隻の減少となっている。

海水動力漁船についてみると、5トン未満階層は6,815隻（84%）、5トン以上階層は1,340隻（16%）と本県では5トン未満の小型漁船が大半を占めている。

（4～6ページ参照）

なお、海水動力漁船の概要は次のとおりである。

(1) 船型別動向（4～6ページ参照）

5トン未満の階層は、前年と比べ161隻減少し（1トン未満で66隻減、1トン以上3トン未満で50隻減、3トン以上5トン未満で45隻減）6,815隻となった。

5トン以上20トン未満の階層は、前年と比べ6隻減少し（5トン以上10トン未満で11隻減、10トン以上15トン未満で3隻増、15トン以上20トン未満で2隻増）1,301隻となった。

20トン以上の階層は、前年と比べ2隻減少し（200トン以上で2隻減）39隻となった。

(2) 漁業種類別動向（8ページ参照）

5トン未満階層では、一本つり漁業が3,981隻で全体の過半数を占め、次いで刺網漁業が1,158隻、魚類養殖等の雑漁業が775隻、採介藻漁業が265隻、ひき網漁業が143隻となっている。

5トン以上階層では、雑漁業が698隻で、以下、一本つり漁業が238隻、刺網漁業が77隻となっている。

(3) 船質別動向（10ページ参照）

船質別には、鋼船45隻（0.6%。軽合金製漁船を含む。）、木船21隻（0.3%）、FRP船8,089隻（99.1%）の構成となっている。

(4) 建造状況（34～35ページ参照）

令和3年（2021年）の新規建造船は13隻であった。トン数別では、5トン未満6隻（46.1%）、5トン以上10トン未満で1隻（7.7%）、10トン以上15トン未満で3隻（23.1%）、15トン以上20トン未満が3隻（23.1%）であった。